



平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2206 (令和 3 年 3 月 25 日)

Rotary



2020-2021 年度

国際ロータリー会長 / ホルガー・クナーク
2690地区ガバナー / 菊池 捷男

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

会長 / 釜屋 治男 副会長 / 堀江 卓男
幹事 / 原 泰久 会計 / 榎野 良文

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
3月25日	会員 小汀 泰之	観音堂の改築に向けて
4月1日	愛宕山公園 6:30~	早朝例会
4月8日	NPO 法人ひらた空き家再生舎 理事長 吉岡 拓也 様	NPO 法人ひらた空き家再生舎を 設立した経緯から現状と課題
4月15日	ホテル ほり江 18:30~	夜間例会 (花見例会)

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
39	29	10 (4)	82.86%

■欠席者

堀江 / 大島淳 / 板垣 / 加藤 / 松浦 / 園山
(牧野 / 伊藤 / 河原 / 黒田)

■来訪者

3/20 山崎・金山・布野・福田(出雲南) 中村(出雲中央)
堀江・中田・溝本(松江しんじ湖)

■メイクアップ

3/20 堀江 (PETS)

■次回例会受付当番

(4月1日) 飯塚詔夫 / 大谷良治 / 佐々木哲也

(4月8日) 三好洋平 / 重親政継 / 杉原朋之

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えよう)

月	出雲中央	松江南 3/29 4/26
火	出雲 4/6 6/29 4/13(-) 5/4・11(-) 6/8(-)	松江しんじ湖 3/30
水	大社 4/7・21 4/28(-)	松江 3/31(-)
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東
金	出雲南	

■会長挨拶

ロータリークラブは異なった事業または専門職種から選ばれた者によって構成され、次の事柄を達成するために組織化されています。

第1 個々の会員の向上。

第2 会員の事業の理念と現実の双方における向上。

第3 会員の属する業界全体の向上。

第4 会員の属する家庭、社会全体の向上。

その内の、個々の会員の向上について、

ロータリーは会員のために次のような活動を提供することになっています。

(1) 事業上の経験を交換して、視野を広げる。

(2) 自分の考えの狭さを自覚させて、心に刺激を与える。

(3) 他人のために奉仕する心を喚起する。

(4) 最大の可能性を得るために支援する。

(5) 人間の指導者を作り上げる。

今年度は、多くの先輩のロータリアン、又事務局の勝部さんから良い支援、指導を与えていただき色々とお助けいただきました。

あと3カ月となりましたが、よろしくお願いいたします。

■幹事報告

1. 例会変更

○ 出雲 RC 4/6(火) 花見例会(夜の例会) ニューウェルシティ出雲
6/29(火) 最終例会(夜の例会)

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 ホテル武志山荘

2. 休 会

○ 出雲 RC 4/13(火)・5/4・11(火)・6/8(火) 定款により
ビジター受付 なし

3. 次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーのご案内

(会場とオンラインのハイブリッド方式)

日 時 5/16(日) 受 付 13:00 ~

本会議・部門別セミナー 13:30~16:10

場 所 ホテルニューオータニ鳥取

出席義務者

会員増強セミナー : 会長エレクト・次期会員増強委員長

R財団セミナー : 次期幹事・次期R財団委員長

4. 出雲 RC より 次年度 5RC 会長・幹事会開催について

4/12(月) 18:30 ~ ホテル 武志山荘

次年度 堀江卓男 会長、土江光二 幹事 出席

5. ロータリー文庫 開館のお知らせ (1月より閉館)

3/22 より 開館時間 10:00 ~ 16:00 (時間短縮)

■理事会決定事項

1. 伊藤義徳会員より退会届が提出され受理致しました。

■スマイル

釜屋・原泰 (小汀会員、スピーチよろしくお願ひします。)

大島卓 (情熱を込めた来年の組閣ができ、来年度が見えて来ました。
皆さんの活躍を期待します。)

恒松 (小汀様のスピーチありがとうございます。ロータリークラブは世界に
奉仕する唯一の集まりです。)

■例会プログラム

「観音堂の改築に向けて」

会 員 小汀 泰之



私の住いする武志町の常会での話です。令和2年度は、私が町内会長でした。ここ10年来の懸案事項は、町内で管理する観音堂をどのようにするかという事でした。

観音堂は、斐伊川堤防を平田から出雲に向かって走り、武志で降ったところの土手のふもとにある一間四方の古いお堂で「子安観音堂」と呼ばれています。元々は、この近郷を治めた中溝家の敷地にあったもので、中溝家は、尼子氏時代から続く名家といわれ毛利氏、そして江戸時代には松江藩の松平氏にも仕えました。しかし、昭和7年絶えたといわれています。70年あまり前に、町内の先人の手によって現在の場所に移築されました。お堂は、古材を主体に再建されましたが、風雨による経年劣化も著しく屋根瓦も破損し、ここ10年は、だましだまし維持をしてきたのが現状です。

私たちには、三つの選択肢がありました。①このまま朽ちるまで放っておく、②この際、このお堂を撤去し、安置してある仏様をどこかのお寺に引き取ってもらう、③改築して維持する。

まず、①の選択は可能か？それは、この状況を見て見ぬふりをすることを意味します。今は見て見ぬふりが出来たとしても、いずれは②か③の検討をしなければならない、であれば、現時点で②か③の検討をすべきではないか。

では②は可能か？お堂の撤去をするためには、中に安置してある仏様3体をどうにかしなければならぬ。勝手に穴を掘って埋めるわけにもいかない。地元のお寺さんに相談したところ、お寺の境内にお堂を建ててもらって、仏様を動座してくれるなら引受けるということでした。

管長さんに相談しました。管長さんは「お参りはありますか？なんとか維持できそうですか？多少とも何とかできているのなら、頑張ってみなさい。どうしてもダメだったら、一畑寺で引き取ってあげるから。」と。お参りはといえば、散歩の道すがら手を合わせる人もあり、お賽銭も年間で7～8千円近くあることから、それなりの信仰を得ていることがうかがわれました。

町内会では、地元のお寺で引き取ってもらうにしてもお堂は建てなければならぬ。そうでないと仏様は引き取ってはもらえない。町内会で改築の努力をしてみた上で、ダメなら引き取ってもらえる目処があるのだから可能性を探ろうということになりました。どんな条件があったら③の改築は可能かと。

町内会は、戦前からのいわば土着の家が13戸、戦後移転してこられた家が7戸。概ね70歳以上が世帯主の家は、10戸あります。年金が生活の支えになっている家が半数近くあることを意味しています。経済的問題がクリアできれば可能ということです。

改築の議論をしていると、10年前に引っ越してきた40歳代の若い人が発言しました。「自分は、縁があってここに住まわせてもらった。地元に縁があるこのお堂を、このまま放っておくことは出来ない。この機会を逃せば、もう二度と改築する機会はない。改築してはどうか。」この発言から、改築に消極的な方々も、積極的に賛成はしないが、反対はしないということになり、全会一致で改築することに決しました。

管長さん紹介の工務店さんで見積りました。出てきた金額は150万円。予定の倍以上でした。再検討してもらって130万円に。起工の法要費用、竣工の法要費用と、借入金の金利、予備費を合計すると総額155万円の予算組みとなりました。130万円を借入れます。町内の事情を考慮して、1戸あたり1500円/月の負担をお願いし4年間で返済する計画としました。1戸あたりの負担額は65,000円となり、残額を篤志寄付でまかないます。篤志寄付は、概ね目処が立っていますが、ちょっと心元ありません。使える材料があれば再利用する事を想定した見積りなので、再利用できなければ工事費が増えるかもしれませんので。

年度末の3/28の常会で、資金面を最終決定します。4/4(日)閉眼供養(起工法要)、5/3(月)開眼供養(竣工法要)の予定で進みます。機会があれば、「子安観音堂」散歩がてらご覧になって下さい。

今回の私たちの事業を進めていく上での価値基準は「四つのテスト」でした。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

振り返ってこのテストで評価してみると、町内の絆の再発見ができたように思えますし、少なくとも「みんなのためになる」ことだったと信じます。ロータリーは私に、正しい価値基準を与えてくれました。

この「四つのテスト」との出会いに感謝しています。